

宮崎まちづくり活動団体情報

VOL 11



【宮崎まちづくり協議会活動】

宮崎学区お助け隊（隊長 加藤勝彦さん）

〇マイタウン・マイロード事業の第2回目作業を実施

令和3年11月6日（土）、秋の草刈りを実施しました。愛知県の草刈り事業に参加し、7月11日の作業に続くものです。前回は、作業に不慣れなことと大量の草の処理に手こずりましたが、今回は午前中の作業で終了することができました。千両町方面隊は、前回同様通行止め区域内の作業となり、通行車両を気遣うことなく作業ができました。萩町方面隊は、標識が見やすいように枝払いをするなど充実した作業ができました。また、新東名高速道路の高架下の県道沿いも草刈りをさせていただきました。宮崎学区からの通勤や通学に際し、安心して通行ができるようにと願い始めた事業です。行政区域を超えた草刈り作業は、地域住民の理解と高い自治意識が必要です。ご協力をいただいた皆さんに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



【宮崎まちづくり協議会】

宮崎学区ミライづくり委員会 (委員長 梅村順一)

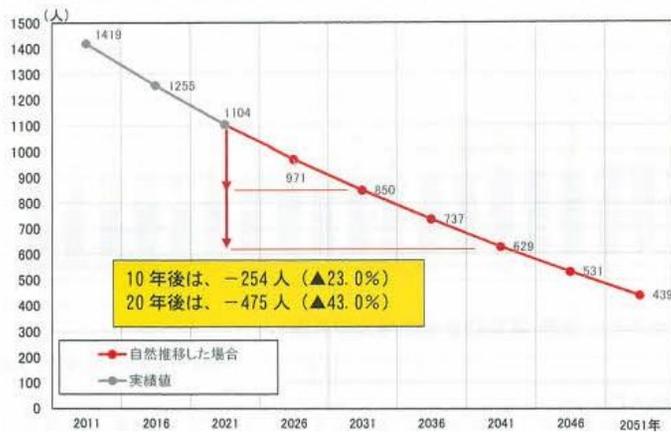
〇ミライを考えるワークショップ (以降WS) 開催

令和3年12月19日(日曜日)午前9時30分より、宮崎学区市民ホームにおいてWSが開かれました。岡崎市中山間政策課の提案で、宮崎まちづくり協議会の中に「宮崎学区ミライづくり委員会」を設置して実施しました。これからも地域で暮らし続けていくために、宮崎学区の未来をどうやっていくかを、みんなで一緒に考えるものです。内容は、①今のままだと、この先宮崎学区はどうなってしまうのかをデータをもとに説明いただきました。②次に、学区の良い点・問題点・10年後の姿を、みんなで話し合い意見を出し合いました。30名程度の出席でしたが、みんな真剣に意見を出してくれました。次回のWSは、2月20日(日)を予定しています。みんなで考え、話し合い宮崎学区の未来をつくっていくワークショップに、あなたも参加してください。宮崎まちづくり協議会のメンバーと共にお待ちしております。

1. 自然に推移した場合の見通し **放っておけば大変なことになる！！**

(1) 学区総人口

●このまま自然推移すると(放っておくと)人口は減少していくことが予想されます。



※20年後には、43%の人口減となると予測されました



※みんなで考え、様々な意見をいただきました

【宮崎学区の地域おこし協力隊の紹介】

地域おこし協力隊 服部紗代さん着任

〇Instagramでぬかたの魅力を発信



<本人コメント> 地域おこし協力隊として額田の自然や人、素敵なところを沢山の方に知っていただけるように情報発信しています！ 中山間地域における地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこ

し支援をしています。よろしくお願いします。

【宮崎学区の活動団体紹介①】

ぬかた商工会宮崎支部 (支部長 岩月二郎さん)

〇みやざきウインターマーケットを開催

令和3年12月11日、12日の二日間、宮崎学区の商工業者の店舗を紹介し、お店巡りをするイベントが開催されました。2年続けて「ぬかたふるさとまつり」の開催が中止となりました。新型コロナの感染状況が下火となる中で、新たなイベントとして企画されました。ひとつの場所に多くのお客様をお迎えするのではなく、皆さんにマルシェ巡りをさせていただく企画です。感染対策として、開会セレモニーもSNSでライブ配信されました。冬場の商工会の企画に市長も参加していただき、店舗のオーナーに激励をいただくことができました。地域の活性化の為に継続的な企画となるよう頑張っていきたいとのことでした。



【宮崎学区の活動団体紹介②】

里山こうぼうをつくる会 (会長 梅村順一)

〇絆の森「木こり体験会」を開催

令和3年12月4日(土)、絆の森整備事業として、お客様をお迎えして「木こり体験会」を開催しました。場内にある里山橋は、老朽化で通行止めとなっています。そこで、宮崎に昔からある流橋を設置したところ、子ども達に好評です。今回のイベントは、場内にある杉の木が、河川の増水により根が洗われ傾き始め倒木の危険があるため、伐採することになったことがきっかけです。「奏林舎」の唐澤さんをお願いしたところ、快く引き受けてくれました。傾斜とは反対方向に切り倒すために、「チルホー」という道具を使い伐採が行われました。木が倒れた瞬間に、参加者から大きな拍手が起こりました。初めて見る迫力満点の伐採は、多くの参加者の記憶に残るものとなりました。「森は、遠くから眺めるものではなく、中に入って見るものだ」とするコメントが、いつまでも印象に残るイベントとなりました。

